

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



建交労全国ダンプ部会

発行所

全日本建設交運一般労働組合

東京都新宿区百人町 4-7-2

電話 03(3360)8021

毎月25日発行

1部 50円

建設産別対策委員会 第29次ゼネコン本社要請



ダンプ規制法が法制化された趣旨を踏まえ、法令を遵守してください（3月7日鹿島建設）

各社回答

法制化の趣旨を踏まえ 使用促進措置の徹底を

全国ダンプ

建設産別対策委員会は、3月7日～8日に第29次ゼネコン本社要請行動を実施しました。行動には、全国ダンプ部会や他の建設関連業種部会と中央生公連、首都圏建設共闘の各加盟組織の代表者が延べ30名参加しました。今回の要請先は、「鹿島建設・清水建設・大林組・竹中工務店・

熊谷組・前田建設工業・フジタ・東急建設」の8社です。ダンプの要求では、「12条団体等の使用促進措置の徹底」、「直工費分の単価支払い」、「1人親方労災保険の加入徹底」、「建退共証紙の貼付徹底」について、各社に対応を求めました。なお大成建設への要請行動は29日に実施します。

「建退共証紙の貼付徹底」については、「公共民間を問わず、一次下請からの請求にもとづいて証紙を支給している」との回答が大半でした。鹿島建設は「民間工事では発注者の理解と負担が得られず、請求の5割を支給している」との回答でした。

「1人親方労災保険の加入」については、新規入場者教育アンケートの中で「加入有無の確認」、「未加入者に対して加入を求めている」と各企業が回答しました。大林組は「労災保険の加入者には加入者証と支払い領収書の写しを提出させている」と回答しました。

「使用促進措置」については「地域性・発注者の意向を鑑み、現場所長が判断する」と多くの企業が回答しました。森谷部会長等は、ダンプ規制法制定の発端となった「猿投ダンプ事故」を紹介し、当時の国会審議においても「ダンプの交通安全対策の根幹は経済問題の解決」との結論を

導き出し、「法12条団体（交通安全推進団体の設立）の項目を設け、のちに各公共工事発注当局が「使用促進措置」を仕様書等に明記されてきた経緯を伝え、建交労への対応について各社の支店に通知する事を求めました。

「直工費分の単価支払い」については、「協力会社（下請）からの見積書にもとづき合意した単価で契約します。その際、単価内訳書・福利厚生費を提出させ、労働者への適切な賃金支払いを指導していただきます」との回答が大半でした。6年連続で設計労務単価が引き上げられた事や現場での単価の支払い状況を伝え、元請としての改善を求めました。

国土交通省は2月16日、新年度の公共工事設計労務単価を3月から前倒して、適用することを発表しました。新単価は全国平均で昨年比約2.8%上昇しました。さらに東日本大震災の被災3県（岩手、宮城、福島）では1.9%上昇しました。二〇一三年から6年連続で引上げ措置が行なわれていますが、当時と比較すると全国平均が43.3%、被災3県では58.3%上昇しました。（別表参照）しかし、これまで引き上げられた分の単価は、元請・下請建設会社の儲けとなり、ダンプや現場労働者に支払われていません。一方では、ダンプの単価を引き上げる経済闘争を推進する追い風の情勢でもあります。全国ダンプ部会は、これまでに「使用促進闘争」を取り組み、適正単価での就労を元請や発注者に求めてきました。単価を改善できる原資と客観的根拠はあります。各地で単価引き上げの闘争に取り組みましょう。

「1人親方労災保険の加入」については、新規入場者教育アンケートの中で「加入有無の確認」、「未加入者に対して加入を求めている」と各企業が回答しました。大林組は「労災保険の加入者には加入者証と支払い領収書の写しを提出させている」と回答しました。

平成30年3月から適用する公共工事設計労務単価について

単価設定のポイント

- (1) 最近の労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映
- (2) 社会保険への加入徹底の観点から、必要な法定福利費相当額を反映（継続）

全職種平均

全国（18,632円）平成29年3月比；+2.8%（平成24年度比；+43.3%）
被災3県（20,384円）平成29年3月比；+1.9%（平成24年度比；+58.3%）
※ 被災3県における単価の引き上げ措置（継続）

参考：近年の公共工事設計労務単価の伸び率

	H25	H26	H27	H28	H29 (H24比)
全国	+15.1%	+7.1%	+4.2%	+4.9%	+3.4% (+39.3%)
被災3県	+21.0%	+8.4%	+6.3%	+7.8%	+3.3% (+55.3%)

注）金額は加重平均値、伸率は単純平均値

国土交通省が発表した公共工事設計労務単価の引き上げ内容

第8回全国ダンプ交流集会 =各地の取り組み報告④=

岩手ダンプ 全労連とタイアップし 復興工事で拡大を追求



伊藤卓也さん

岩手ダンプ支部として、この間の震災対策のとりくみと到達点の報告をします。

東日本大震災から6年3ヶ月が経過しました。岩手県の沿岸部地域では復旧・復興の大型公共工事が多く発注されています。この公共工事には、県内だけではなく全国各地からダンプや建設労働者が大勢集まってきています。そこでダンプ労働者の組織化をめざして、全労連が推進している組織拡大の総がかり重点行動計画にエントリーし、地域での組織拡大総がかり行動を実施しています。

具体的には、2月6日から組合加入の宣伝カーを月曜から金曜の週5日、1日3時間運行しています。最近では6月7日、9日の3日間、岩手県古市で信号待ちのダンプヘビラとティッシュと軍手をセットにして配り、組合へ加入を訴え、昼には休憩中のダンプヘチラシ撒きを行いました。古市市にある大型残土捨て場の近辺に大型看板の設置にも力を入れています。



兵庫県本部車両パレードにダンプの仲間も参加しました(3月11日兵庫県神戸市内)

宮城ダンプ 東北の震災復興に向けて 最後まで力を尽くします



神山清さん

宮城県内の震災復興の状況について報告します。県内にある主な自治体は「仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、名取市、亘理町、山元町」などです。

少し大づかみに各地の状況をご紹介しますと仙台市内においては、いま大きな現場では閉上(ゆりあげ)大橋からの巨理一塩竈(しおがま)線、通称浜街道のかさ上げ工事が

メインです。名取市においては閉上造成工事、盛土は9割方は終わっております。現在は集合住宅、戸建て住宅、学校建設、道路工事が主になっております。その他の多賀城市、塩竈市、石巻市などは進行状況が早く、終了に近づいているようですが、山元町、亘理町においてはまだいくつかの工区が稼働しております。閉上においては、震災から6年、7年が経っており、地元に戻ってくる住民が減り、戸建て住宅を50棟削減すると、少し前の夕方のニュースで報道されておりました。合わせて復興住宅の建設を削減させて復旧住宅の建設を削減することが決まったみたいですが、自分自身は閉上地域で震災直後のがれき焼却から盛土運搬まで6年ほど稼働しております。これからも宮城ダンプ支部や東北ブロックの仲間たちと共に震災から復興の為に微力ながらがんばっていきたいと思います。

本日は、宮城で開催された第8回全国ダンプ交流集会に全国各地、遠い所からおいでいただきご苦労さまでした。夕食懇親会で、仕事面やそれ以外の面も含めて、いろいろ懇親を深めていきたいと思っています。ありがとうございました。(拍手)

熊本ダンプ 全国の仲間の支援に感謝 震災復興に向けて奮闘中



井上卓也さん

熊本地震の発生から1年2ヶ月が過ぎました。最初に全国の仲間たちからのご支援、ご援助、本当にありがとうございました。

地震による組合員の直接的な被害はなかったものの、自宅半壊数名、車両の全損などが数台ありました。熊本地震の災害の廃棄物の量は三一万トン、二〇〇四年の新潟中越地震の60万トンを大きく上回る数字となっております。現在、被害の大きかった損害家屋の解体が全体のいま60%程度で着実に前進しているものの、まだ40%ほど作業

が残っております。熊本地震をきっかけに、私たちの息子がダンプに乗り始め、その現場で仕事をしようになりました。現場の単価は4万円から5万円、その他の復興工事の単価は国発注、県発注等の発注者によって単価が変わってくるのが実情でございます。今は1日、1日と震災からの復興に向けてがんばっておりますので、また今後とも、熊本の復興に向けて皆さんのご支援のほどをよろしく願いたいと思います。

神奈川自動車パレード 18春闘要求をアピール

神奈川ダンプ支部は、3月4日(日)神奈川交運共闘主催の自動車パレードに参加しました。当日は、横浜港の下ふ頭に集合して「国民春闘勝利!!賃上げ・まともな運賃!許すな増税・憲法改悪」など神奈川交運共闘の共通スローガンを掲げ各産別のスローガンを掲げた横断幕などを各車両にセットし、決起集会を開催しました。集会参加者は全体で60名、そのうち建交からは19名(神奈川県南支部、神奈川県本部・ダンプ支部、近物レックス支部、中央本部)が結集しました。集会後は、トラック、ダンプ、海コンレーラー、タクシー、宣伝カーなど40台の車両(建交からはダンプ・トラック6台が参加)が山下ふ頭から横浜市内のパレードをおこなひ、繁華街を通行する横浜市民や観光客に自動車パレードを大きくアピールしました。

車両パレード44台が参加 18春闘を市民にアピール

兵庫ダンプ支部は、3月11日(日)神戸市中央区ポートアイランド・コンテナストックヤードにて開催された二〇一八年春闘決起集会&トラックパレード(兵庫県本部主催)に参加しました(全体一〇六名参加、パレード車両は44台) 決起集会には106名(来賓8名を含む)が参加し、兵庫労連、兵庫生公連などの来賓から激励と連帯のあいさつを受け、安倍9条改憲阻止に向けた共同行動を確認しました。